



2017年12月19日

各位

会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 穂川 稔  
(コード番号4569 東証第1部)  
問い合わせ先 社長室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次  
電話 03-3525-4707

## 当社グループにおける生産機能の集約 (当社完全子会社間の吸収分割及び吸収合併) について

当社は、2017年5月11日付のプレスリリース「当社グループにおける生産機能の集約について」及び2017年9月28日付のプレスリリース「子会社の設立について」により公表した通り、2017年10月に新生産子会社としてキョーリン製薬グループ工場株式会社（東京都千代田区）※（以下「キョーリン製薬グループ工場株（東京都）」）を設立しておりますが、本日開催した取締役会において、キョーリン製薬グループ工場株（東京都）に、当社連結子会社である杏林製薬株式会社の能代工場（秋田県能代市）及びキョーリン リメディオ株式会社の生産本部（富山県南砺市）をそれぞれ吸収分割により承継させ、当社連結子会社であるキョーリン製薬グループ工場株式会社（滋賀県甲賀市）（以下「キョーリン製薬グループ工場株（滋賀県）」）を吸収合併により統合することを決議いたしました。

本生産機能の集約の概要は以下の通りです。なお、本生産機能の集約は、当社の完全子会社間で行われるものであるため、開示事項・内容を一部省略して記載しております。

※新生産子会社は、生産機能の集約により、従来キョーリン製薬グループ工場株（滋賀県）が担ってきた当社グループの生産機能の中心的役割を承継することから、キョーリン製薬グループ工場株（滋賀県）と同一の商号としました。キョーリン製薬グループ工場株（滋賀県）は、下記のとおり、吸収合併において消滅会社となる予定です。

### 記

#### 1. 生産機能の集約の目的

当社グループは、中期経営計画「HOPE100-ステージ2-」（2016～2019年度）の重点戦略の1つに「ローコスト強化：グループ内最適化によるコスト構造の変革」を掲げ、グループ内生産の協業による全体最適化に取り組んでおります。生産機能の集約により、工場稼働率の平準化と資産の効率活用を推進し、高品質の製品を安定的に低コストで供給する競争力のあるグループ生産体制の構築を目指します。

## 2. 生産機能の集約の要旨

- ・杏林製薬㈱及びキョーリン製薬グループ工場㈱（東京都）間の吸収分割、並びにキョーリン リメディオ㈱及びキョーリン製薬グループ工場㈱（東京都）間の吸収分割について

### (1) 各吸収分割の日程

各吸収分割契約書承認取締役会	2017年12月19日 (杏林製薬㈱、キョーリン製薬グループ工場㈱（東京都）)
	2017年12月22日（予定） (キョーリン リメディオ㈱)
各吸収分割に係る契約締結日	2017年12月22日（予定）
各吸収分割契約書承認株主総会	2018年1月15日（予定） (キョーリン リメディオ㈱)
	2018年1月17日（予定） (杏林製薬㈱、キョーリン製薬グループ工場㈱（東京都）)
各吸収分割の分割期日 (効力発生日)	2018年4月1日（予定）

### (2) 各吸収分割の方式

杏林製薬㈱及びキョーリン リメディオ㈱をそれぞれ分割会社とし、いずれもキョーリン製薬グループ工場㈱（東京都）を承継会社とする吸収分割です。

### (3) 各吸収分割に係る割当ての内容

各吸収分割は、当社の完全子会社間で行われるため、各吸収分割に伴う株式の割当て等はありません。

### (4) 各吸収分割に係る分割会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

### (5) 各吸収分割により増減する資本金

該当事項はありません。

### (6) 承継会社が承継する権利義務

承継会社は、各吸収分割の分割期日において、杏林製薬㈱の能代工場及びキョーリン リメディオ㈱の生産本部で行われている医薬品等の製造に係る資産、債務、雇用契約その他の権利義務を承継します。

### (7) 債務履行の見込み

各吸収分割後の承継会社の債務履行の見込みは問題ないと判断しております。

(8) 各吸収分割の当事会社の概要

	分割会社		承継会社
1) 名称	杏林製薬㈱	キョーリン リメディオ㈱	キョーリン製薬グループ工場㈱ (東京都)
2) 所在地	東京都千代田区神田駿河台 4-6	石川県金沢市諸江町下丁 287-1	東京都千代田区神田駿河台 4-6
3) 代表者の 役職・氏名	代表取締役社長 穂川 稔	代表取締役社長 大野田 道郎	代表取締役社長 丸林 和弘
4) 事業内容	医薬品等の製造販売	医薬品等の製造販売	医薬品等の製造販売
5) 設立	1940年12月	1947年10月	2017年10月
6) 決算期	3月末	3月末	3月末
7) 従業員数	1,687名 (2017年3月末現在)	344名 (2017年3月末現在)	4名 (2017年11月末現在)

・キョーリン製薬グループ工場㈱(東京都)及びキョーリン製薬グループ工場㈱(滋賀県)間の吸収合併について

(1) 吸収合併の日程

吸収合併契約書承認取締役会	2017年12月19日 (キョーリン製薬グループ工場㈱(東京都))
	2017年12月21日(予定) (キョーリン製薬グループ工場㈱(滋賀県))
吸収合併に係る契約締結日	2017年12月22日(予定)
吸収合併契約書承認株主総会	2018年1月17日(予定) (キョーリン製薬グループ工場㈱(東京都))
	2018年1月23日(予定) (キョーリン製薬グループ工場㈱(滋賀県))
合併期日(効力発生日)	2018年4月1日(予定)

(2) 吸収合併の方式

キョーリン製薬グループ工場㈱(東京都)を存続会社、キョーリン製薬グループ工場㈱(滋賀県)を消滅会社とする吸収合併です。

(3) 吸収合併に係る割当ての内容

本吸収合併は、当社の完全子会社間で行われるため、吸収合併に伴う株式の割当等はありません。

(4) 吸収合併に係る消滅会社の新株予約権及び新株予約権社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 吸収合併の当事会社の概要

	存続会社	消滅会社
1) 名称	キョーリン製薬グループ工場(株) (東京都)	キョーリン製薬グループ工場(株) (滋賀県)
2) 所在地	東京都千代田区神田駿河台4-6	滋賀県甲賀市水口町笹が丘1-4
3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 丸林 和弘	代表取締役社長 高橋 敬
4) 事業内容	医薬品等の製造販売	医薬品等の製造販売
5) 設立	2017年10月	2012年6月
6) 決算期	3月末	3月末
7) 従業員数	4名 (2017年11月末現在)	130名 (2017年3月末現在)

3. 今後の見通し

本件の2018年3月期の連結業績予想に与える影響は軽微です。

以 上